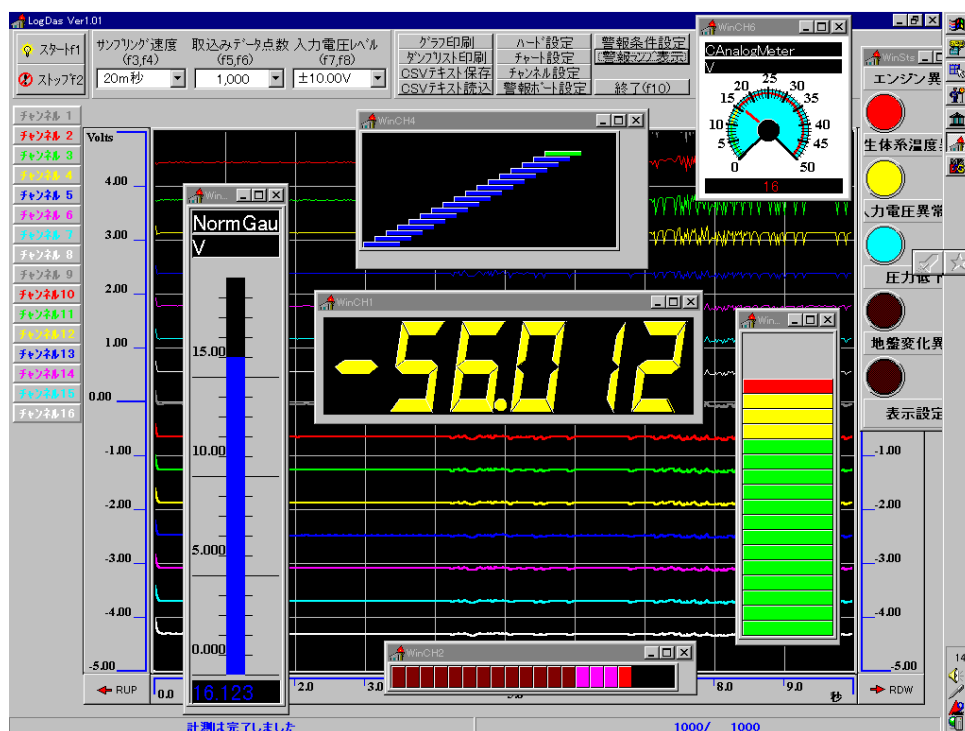


監視警報記録ソフトウェア

# LOGDAS-WIN



LOGDAS-WIN 活用ガイド

Windows エンジニアリングソフトウェア

(株)松山アドバンス

監視警報記録ソフトウェア

L O G D A S - W I

N活用ガイド

## ご注意

---

本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することとはできません。

本ソフトウェアの著作権は（株）松山アドバンスにあります。

本製品は改良のために予告なく変更することがありますが、ユーザーカードのご返送をいただいた方にはご案内をいたします。

本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社までご連絡ください。

本ソフトウェアを使用した直接、間接の結果に関して、上記点にかかわらず責任を負

いかねますのでご了承ください。

本ソフトウェアはコンピュータ 1 台につき 1 セット購入が原則となっております。

MS, Microsoft, MS-DOS, Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

---

## 目 次

はじめに.....	5
第 1 部 LOGDASはこんな製品です.....	6
第 2 部 LOGDASのインストール、削除.....	7
第 3 部 LOGDASの起動 .....	8
第 4 部 とりあえず計測を試みる.....	10
第 5 部 計測環境の設定	
計測ハード設定.....	13
計測条件設定.....	14
チャート設定.....	16
チャンネル設定.....	17
第 6 部 表示計器の設定	
7セグメントLED設定.....	18
縦バーLED設定.....	20
横バーLED設定.....	21
斜めバーLED設定.....	.
22	
レベルメータ設定.....	23
アナログメータ設定.....	.
24	
第 7 部 警報の設定	
警報ポート設定.....	25
警報条件設定.....	26
警報ランプ表示.....	27
第 8 部 グラフ、リスト印刷	
グラフ印刷.....	28
リスト印刷.....	
28	

第 9 部 テキストファイル保存、読込.....	2 9
第 1 0 部 トラブル対応.....	3 0

## はじめに

---

このたびは監視警報記録ソフトウェア LOGDAS をお買いあげいただき、まことに  
ありがとうございます。  
うございます。

LOGDAS は、Windows 95 で動作する 32 ビットのアプリケーションで、  
パソコンの拡張ス  
ロットにセットされた A/D ボードから、計測波形データを取込み、リアルタイムに表  
示し、あ  
らかじめ設定されているレベルで警報も出力することができます。

基本はチャートグラフ表示ですが、他 6 種類の表示計器、7 セグメント LED、縦、  
横、斜め  
バー LED、レベルメータ、アナログメータの表示が選択できます。各チャンネルに  
対してこれ  
ら表示計器は同時にオンできます。これら表示計器に対して、LED の色、バックフ  
レームの  
色、警戒、注意色等各種の設定が可能で、お好みの計器が設計できます。

警報は、警戒ゾーン、注意ゾーンの設定が可能です。但し、警報出力は警戒ゾーンに  
入っ  
たときに判定されます。設定された任意 I/O ポートアドレスの任意ビットに対して、  
全チャネル  
の判定結果の AND、OR の組み合わせ設定が可能です。

リスト形式、連続チャートグラフ印刷機能、及び他表計算ソフトで読込可能な CSV  
テキストフ  
ァイルで保存機能も備えております。

本ソフトウェアをご使用しての、ご不満、ご意見等ございましたら、ご指摘ください。

今後、本ソフトウェアのさらなる改良の参考にさせていただきます。

〒790-0944

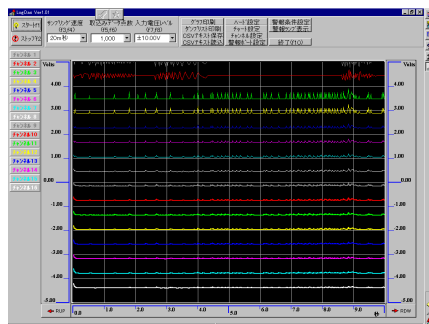
愛媛県松山市古川西2丁目11-24

(株)松山アドバンス

TEL 089(957)2243

FAX 089(958)2143

Email: mmadvan@mxs.meshnet.or.jp



## LOGDASはこんな製品です

LOGDASは温度、圧力などのデータを記録、監視し、場合によっては、外部機器に警報を

出力できるソフトウェアです。従来のデータロガーが持つ機能、記録、印刷に加えて、パソコン

ンで行うことによる利点、エクセル等解析ソフトへのデータの受け渡し、大量保存、豊富な

表示計器によるインパクトある表現能力等を備えております。

以下のような分野で、記録、トレンド表示、監視、警報出力などに使用することができます。

### 適用分野例

工業	成形分野での圧力、温度等、成形条件のトレンド表示、監視
	加工機構部品の寸法の監視、記録
	駆動モーターの負荷電流、電圧の監視、警報
海洋	海水溶残酸素、PH値等の監視、記録
自動車	エンジン計測、
土木	アンカー緊張計測、地質解析記録

### 波形計測機能

最大16チャンネルの波形の取り込みが可能で、リアルタイム、自動スクロ

ールで

監視できます。リアルタイム表示をオフにすると高速での取り込みも可能となります。

また、データをディスク保存モードにすれば、大量の計測が可能になります。ただし、

この場合、最高のサンプリングスピードは限られてきます。

#### **ユーザーによる自由な監視パネルの設計**

基本のチャートグラフ画面に対して、独立表示、または重ね合わせ表示、背景色等

自由な設定が可能で、ユーザーの見やすい画面を作成できます。これに加え、リアル

タイム値を各種計器で表示できます。この計器はユーザーの希望に合わせて、色、大

きさ等、各種モードを設定できます。

#### **警報機能**

LOGDASは計16チャンネルの波形計測が可能ですが、これら各波形に設定された

警戒ゾーンのAND、ORの組み合わせで、指定されたI/Oアドレスの指定されたビット

をオンできます。各ビットは希望の警報名を設定可能です。また警報ランプ表示画面

をオンしますと、これら警報ランプがモニターできます。

#### **印刷、テキストファイル保存機能**

計測収集されたデータをリスト、複数枚のチャートグラフ形式のどちらでも印刷ができ

ます。また、エクセル等、他の表計算アプリケーションでデータの解析ができるよう、C

SVテキストの保存機能も備えています。

## **LOGDASのインストール、削除**

---

LOGDASのインストールは2枚のFDのうちのセットアップディスクで行います。

エクスプローラでFDファイルの一覧を表示し、このなかの<SETUP>アプリケーションを

マウスでクリックします。



クリックするとインストールプログラムが起動しますので、画面の指示に従い、実行します。

インストールが正常終了すると、スタートメニューに<LOGDAS - WIN>が登録されま

す。以後、このメニューをクリックして、LOGDASをスタートします。

### LOGDASの削除

LOGDASが不要になりディスクから削除するとき、または、バージョンアップで削除すると

きは、スタートメニュー<設定><コントロールパネル>のアプリケーションの追加と削除

を起動して行います。画面の指示に従い削除を実行します。

今後のバージョンアップの際は、かならず削除してから行います。通常、再インストールは

上書きをしません。

### 非圧縮ファイルFD

添付LOGDASの非圧縮ファイルFDには圧縮していない実行ファイルが収められています。

す。もし、上記のセットアップディスクでインストールができないときは、このFD内ファイルを

そのままコピーし、この中のLOGDAS - WINアプリケーションを実行すれば起動できま

す。本ソフトウェアはDLL等のファイルは使用せず、EXEアプリケーションファイルのみで

実行します。



実行すると、自動的に、LOGDAS.INIのファイルが作成され、ここに実行中に設定された

各種条件が保存されます。このファイルは通常のINIファイルと異なり、バイナリファイルと

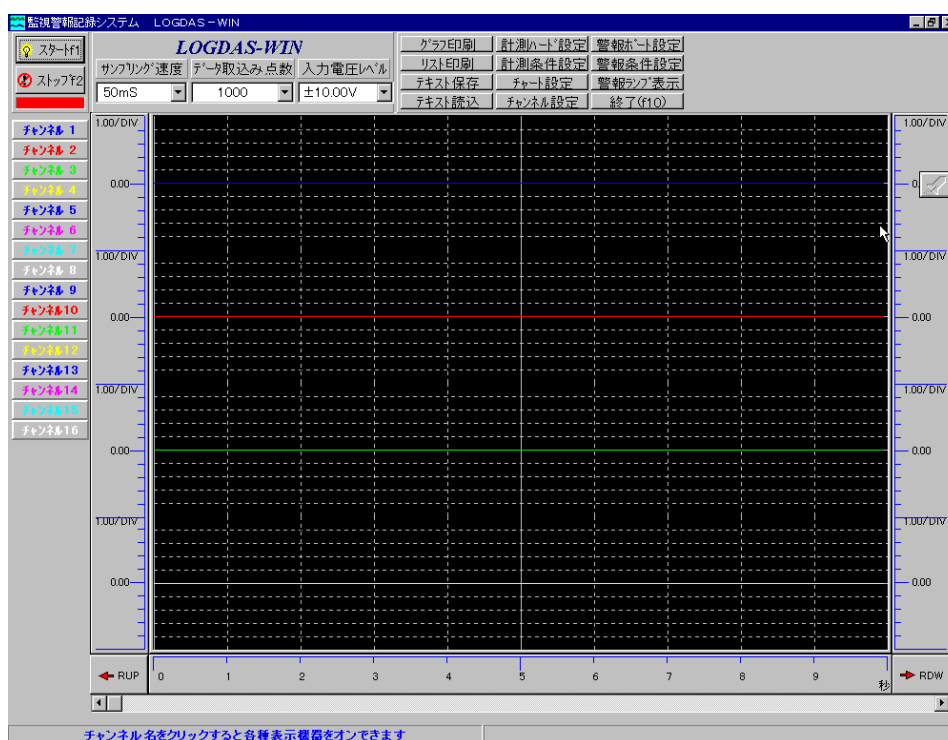
なってます。

## LOGDASの起動

LOGDASが起動されますと次のチャート表示の基本初期画面となります。表示チャンネル数

背景色、チャンネル名称等は初期状態になっていますが、ユーザーの自由に設定した内容は

終了時保存することができ、以降、起動時はユーザー設定の画面が最初から表示され



ます。

### 最初1回のみ必要な確認、設定事項

初期状態ではADボードがADM-5298になっているので、他のADボードを使用している場合

は、画面上のメニューボタン<計測ハード設定>をクリックし、ADボードの変更を行って下さ

い。A D ボード基板上各種ジャンパーが出荷時のままで、変更していない場合、このボードの変

更のみで計測できます。I O アドレス、

電圧レンジは出荷時の状態にあわせて

ています。

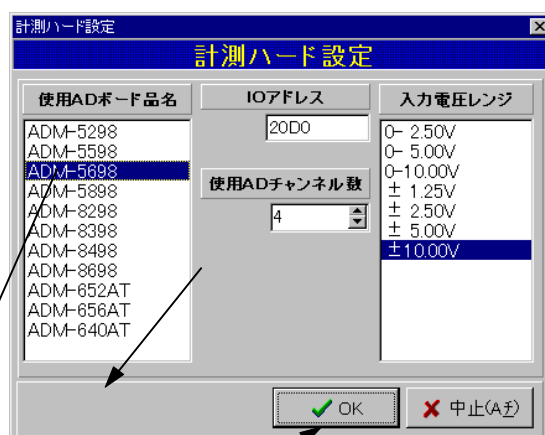
とりあえずはこのボード選択のみで計

測できます。画面左上の<スタート f 1

> ボタンを押すか、f 1 キーで画面に

波形が表示されます。

選択する



### 基本画面の操作方法

画面上に各種のボタンが配置されています。

計測のスタートをします ( f 1 キーでも可 )

計測中に計測を中断します ( f 2 キーでも可 )

サンプリング速度を変更できます

データ取り込み点数を変更できます

入力電圧レンジを変

更できます。



( A D ボード基板の

変更も同時に必要 )

終了ボタンがあります。

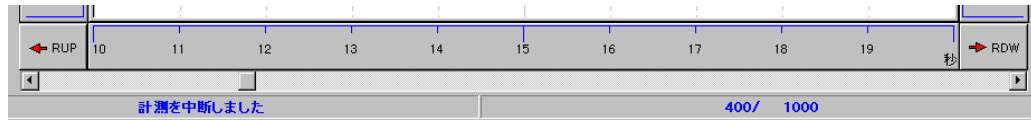
ります

ここに 1 1 個の設定メニューボタン、及び

マウスでクリックすることで設定画面に入

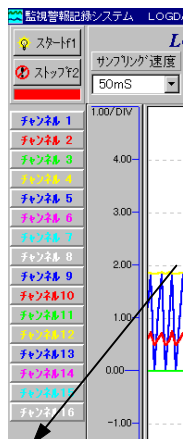
右に画面を全体の分割数分の1スクロールします。

左に画面を全体の分割数分の1スクロールします。



ステイタスバーで現在の計測状態  
に1目盛り分

が表示されます



このスクロールバーでも左右

スクロールできます。

このチャンネル名称表示部分をクリックすることで、  
画面が表示され、各チャンネルのデジタル表示、  
ログ表示等の表示計器をオンできます。

## とりあえず計測を試みる

ご使用のA/Dボードが初期設定状態のADM-5298以外の場合、＜計測ハード  
設定＞で

A/Dポートの変更設定を行います。この変更のみで計測が可能となります。

初期状態は4チャンネルの計測設定になっているので、チャンネル0 - 3までのコ  
ネクタピ

ンに入力波形を接続します。コネクタピンの番号はA/Dボードにより異なりますの  
で、各添付

の取扱い説明書で確認します。接続しなくても、問題はありませんが、チャンネル  
入力がオ

ープン状態になります。

画面左上のスタートボタンをマウスでクリックするか、または f 1 キーを押すことで、波形取り込みが開始します。現在のサンプリング間隔 5 m S、データ取り込み点数 1 0 0 0、入力電圧レベル ± 1 0 V が表示されています。

このボタンをクリックする。

このボタンをクリックすることで計測中でも中断すること



ができます。

開始すると、画面下のステータスバーに現在の取込みカウント数が表示され、データ取り込み点数に達すると、取込みを終了します。途中で中断したいときは、ストップボタンをマウスでクリックするか、f 2 キーを押します。



### サンプリング速度を変えてみる

画面上のサンプリング速度コンボボックスの をクリックすると、速度の一覧が表示される

ので希望速度を設定します。たとえば 0 . 2 秒を選択すると、計測時間は

$$0 . 2 \times 1 0 0 0 (\text{データ点数}) = 2 0 0 \text{ 秒}$$

となります。このサンプリング速度は A D ボード、使用パソコンの処理速度、画面の表示設

定状態等で最高速度が限定されてきます。あとで述べます、各種表示機器の表示をオン

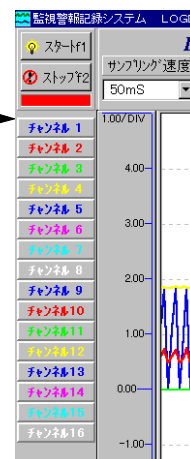
するとさらに遅くなってきます。また対応最低速度も A D ボードで異なる場合があります。

### 7 セグメント L E D でデジタル表示を試みる

デジタル表示したいチャンネルの名称部分をマウスでクリックします。

チャンネル 1 の名称部分をマウスでクリック

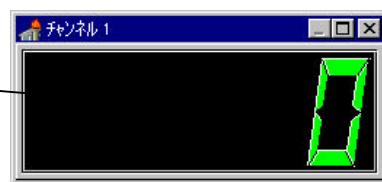
クリックすると、チャンネル 1 の設定画面が表示されます。  
ここで、表示機器の 7 セグメント L E D の表示オンオフチェックマークをチェックオン状態にします。



ここをクリック

チェック後、  
< O K > ボタンをクリックします。指定チャンネルの横にデジタルパネルが表示されます。パネルは位置の移動、縦横の拡大が自由にできます

画面内部のいずれかの部分をクリッとするこ  
で詳細設定画面が現れます



ることのできさが変更

ここの片隅をマウスドラッグす  
できます。

この詳細画面でデジタルパネルの、 L E D 色、バックフレーム色等、自由に変更することが

できます。

F B と表示されている色が指定色となります。マウスで選択できます。



### 個別独立表示を、重ね合わせ表示に切り換える

初期状態では、画面は個別に表示されていますが、これを同一縦軸の重ね合わせ表示に

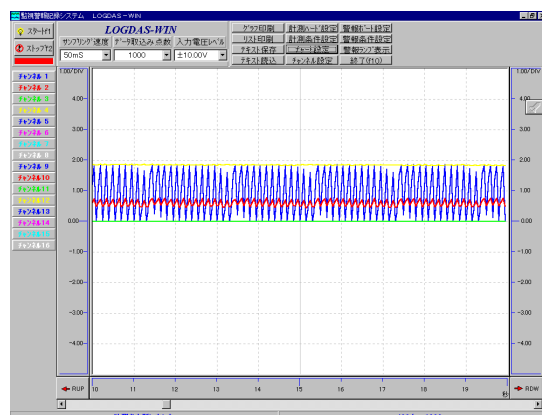
切り換えてみます。画面上の<チャート設定>ボタンをクリックします。

ここの表示モードを  
下の同一縦軸複数チャ  
ネル表示に切り換える。

切り替え後OKボタン  
を押します。



押すと以下の画面に切り替わる。



重ね合わせ表示となります。

## 計測環境の設定

### 計測ハード設定

起動画面上の＜計測ハード設定＞をクリックすると、計測 A D ボードの選択、I O アドレス等  
ハードウェア環境の設定を行います。

入力電圧レンジは、各 A D ボードによって異なります。A D ボードを切り換えると、このレンジ  
一覧も切り替わります。この画面の入力レンジと A D ボード基板のレンジ設定は一致

する必

要があります。レンジを切り換えたいときは、パソコンの電源をオフし、各 A D ボード添付の取

扱い説明書を参照の上、適切に設定後、本ソフトの設定を変更してください。

使用 A D チャンネルも各 A D ボードで最大数が異なるので適切に設定してください。

このチャ

ンネル数は最大チャンネルを設定し、不要なチャンネルを、後の<チャンネル設定>でオフ

できますが、メモリ容量、処理速度の関係で必要なチャンネル数のみを設定してください。こ

のチャンネルはかならず 0 チャンネルから連続します。途中をとばすことはできません。

I O アドレスの初期値はボードの出荷状態にあわせていますので、他のボードを使用してい

る等の特別な場合をのぞき、設定変更は通常不要です。もし変更した場合は、A D ボード基

板上の変更も必要となります。

## **計測条件設定**

起動画面上の<計測条件設定>をクリックすると、計測の開始トリガ、リアルタイム表示の

オンオフ、サンプリング速度等、計測実行に関する各種条件を設定します。この設定項目

は<計測ハード設定>で選択された各 A D ボードで異なります。選択できるサンプリングク

ロック、可能なトリガ等、異なっていますので、各 A D ボード添付の取扱い説明書でご確認

ください。





## 計測実行基本条件

計測実行時の基本条件を設定します。

計測開始モード：＜無条件即時開始＞

スタートボタンを押すことにより、無条件に即サンプリングを開始します

＜トリガ条件による開始＞

スタートボタンを押した後、トリガ条件が成立まで待ち、成立後、データ

取込み点数までサンプリングを行います。

計測実行モード：＜1回のみ実行＞

スタートボタンを押すごとに、規定データ点数を取込み終了します。

＜ストップまで連続実行＞

規定データの取込みを、繰り返し実行します。停止はストップボタンで

行います。

計測表示モード：＜計測中表示しない（高速）＞

規定データ点数取込み完了まで、表示しません。表示しないため、サン

プリングクロックを高速に設定できます。

＜計測中表示する（低速）＞

データの取込みを実行しながら、チャート表示を行います。表示計器が

オンされていると、現在値も表示されます。これら表示状態によ

りサン

プリング可能な速度は遅くなります。

計測保存モード：＜メモリに保存（高速）＞

計測データはメインメモリに保存されます。

＜ディスクに保存（低速）＞

計測データは保存ディスクで指定されたディスクに保存されます。

指定ディスクに＜LOGDASDT.TMP＞という仮ファイルが作成され、

ここにバイナリファイル（2バイト整数）で保存されます。

### サンプリング速度

サンプリング速度の指定方法はA/Dボードで異なります。とびとびの値をリストから選択す

る場合と、任意の整数と単位で指定する方法があります。サンプリング速度が早くパソコ

ンの処理が追従しない場合、ロスエラーが発生しますので、遅く変更して下さい。

### データ取込み点数

データ点数×2×＜計測ハード設定＞で設定したA/Dチャンネル数が必要バイト数になります。

す。メモリ保存のときは、2M点が最大点数となり、ディスク保存のときは指定ディスクの

フリー容量が最大点数となります。

サンプリング速度、データ取込み点数はここで設定できますが、起動画面においても変更で

きます。ただしここではリスト形式で代表的な値のみ選択が可能となります。



### トリガ条件設定

計測開始モードで＜トリガ条件による開始＞を選択したとき、スタート後、トリガ条件設定

内容に一致したとき計測が開始します。各A/Dボードによって異なりますが、多く分けて以

下の2つがあります。

1) 外部コネクタ端子の入力の立ち上がり、立ち下がり、このモードでは電圧のレベル設定はできません。

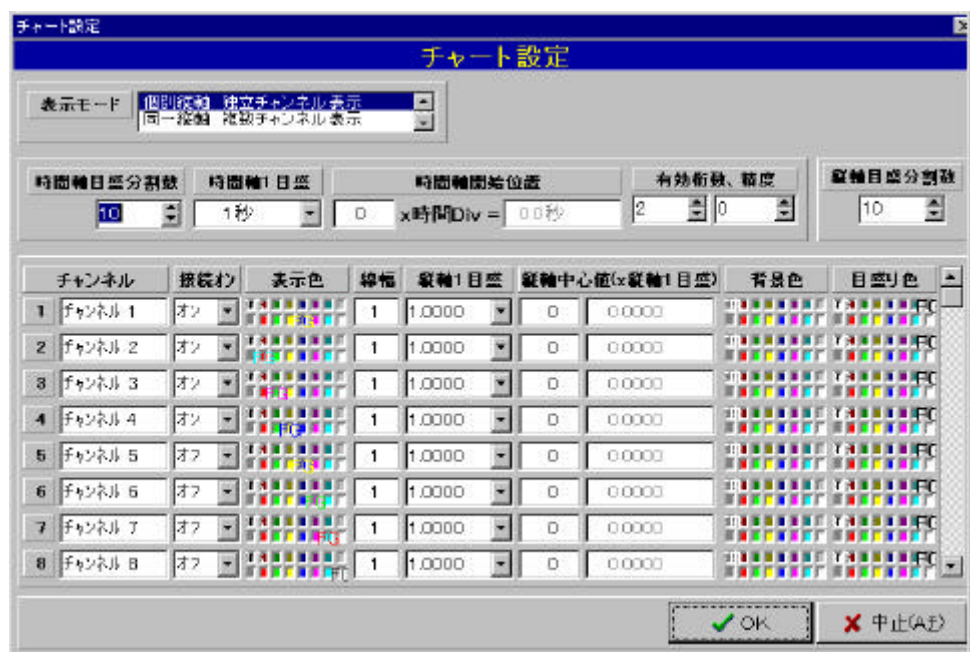
2) チャンネル0の各種モードの電圧、このモードでは電圧が指定できます。

他各種トリガ機能がありますので、A/Dボード添付の取扱い説明書を参考にして、設定してください。

## チャート設定

起動画面上の<チャート設定>をクリックすると、計測画面のチャートグラフ表示に関する

各種の設定ができます。



まず表示モードでチャートの基本表示方式を選択します。<個別縦軸独立チャンネル表示>

>と<同一縦軸複数チャンネル表示>のいずれかを選択します。

次に横 X 軸（時間軸）の設定を行います。分割数、1 目盛り値等を設定します。時間軸開始

位置はグラフ左の原点位置時間を 1 目盛り値の倍数で指定します。画面が表示されたとき

は現在のグラフ左開始時間が表示されています。この値は計測画面で X 軸をスクロールす

るごとに変化します。

縦 Y 軸（電圧軸）の設定を各チャンネルに対して行います。チャンネル名称、色、線幅等。接

続オンをオフにすると画面表示は行われませんが、内部では A/D チャンネル数内であれば

サンプリングは行われています。

縦軸中心値、背景色、目盛り色は、＜同一縦軸複数チャンネル表示＞においては 1 個のみ

の設定となります。

### **チャンネル設定**

起動画面上の＜チャンネル設定＞をクリックすると、各入力チャンネルの設定画面となります。

す。

チャンネル設定						
チャンネル	係数変換	係数(倍率a, オフセットb)		警報ゾーン		
単位		有効桁数	精度	注意ゾーン		
1	チャンネル 1	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000
2	チャンネル 2	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000
3	チャンネル 3	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000
4	チャンネル 4	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000
5	チャンネル 5	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000
6	チャンネル 6	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000
7	チャンネル 7	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000
8	チャンネル 8	オフ	1.0000	0.0000	2.0000	5.0000
			5	2	1.5000	2.0000

OK 中止(A)

各チャンネルの名称はここでも変更できます。単位、1次式の変換のオンオフ、有効桁数、

精度、警戒ゾーン、注意ゾーンを入力します。一次式変換は

$$\text{変換値} = \text{倍率 } a \times \text{電圧} + \text{オフセット } b$$

となります。

ここでの有効桁数、精度（小数点以下桁数）はすべての表示計器に影響を与えます。

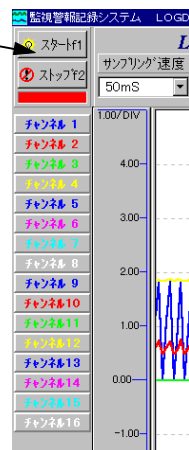
## 表示計器の設定

計測画面左部分のチャンネル名称部分をクリックすると、先の<チャート設定>、および<

チャンネル設定>の内容が個別に指定できます。また、ここでデジタル値表示等の各種

表示計器のオンオフをします。

設定したいチャンネル名称部分を  
クリックする。



ここのチェック  
マークをオンする。

チャンネル1の個別設定

名 称	単 位	接続方	表示色	線幅
チャンネル 1		オン	36	1

係数変換	係数(倍率a,オフセットb)		表示機器	表示オン/オフ
オフ	1.0000	0.0000	7セグメントLED	<input type="checkbox"/>
警報ゾーン			縦バーLED	<input type="checkbox"/>
2.0000 5.0000			横バーLED	<input type="checkbox"/>
注意ゾーン			斜めバーLED	<input type="checkbox"/>
1.5000 2.0000			レベルメータ	<input type="checkbox"/>
有効桁数、精度			アナログメータ	<input type="checkbox"/>
5 2				

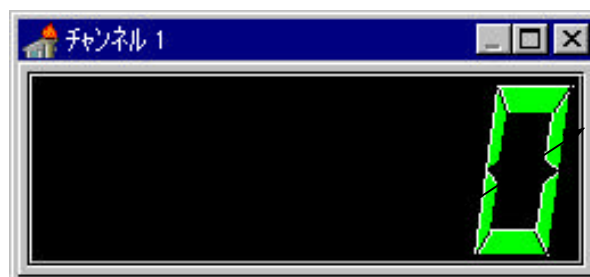
OK 中止(A)

オン後、<OK>ボタンを押すと以下の表示計器が表示されます。

## 7セグメントLED設定

現在値をデジタル表示する計器です。位置、及び縦、横の大きさは自由に変更できます。

この計器は小数点、±表示も対応しています。



ここをドラッグすることで大きさの変更はできます。

すべての表示計器に共通していますが、計器内部の任意の位置をマウスでクリックすることで計器のデザインの変更ができます。



パネルフレームは、浮き、くぼみ、なし、から選択できます。

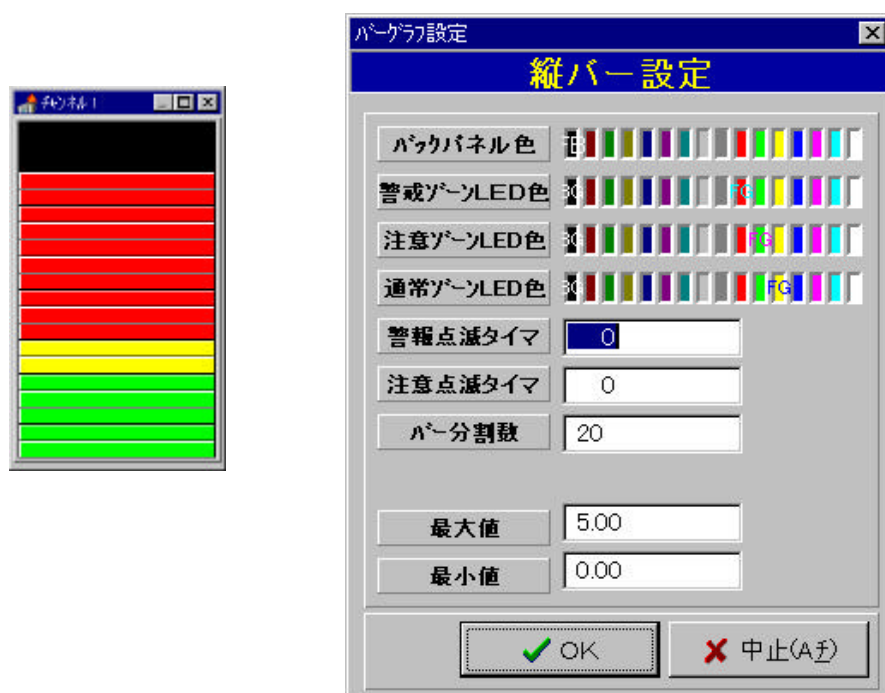
警戒、注意点滅タイマは、すべての表示計器に共通で、＜チャンネル設定＞で設定した、

警戒、注意ゾーンにはいったとき、この入力されたタイムで点滅をはじめます。

0の場合は点滅はオフとなります。単位はm s e cです。表示書き換え時間より早く設定しないで下さい。

### 縦バーLED設定

現在値を縦バーで表示する計器です。

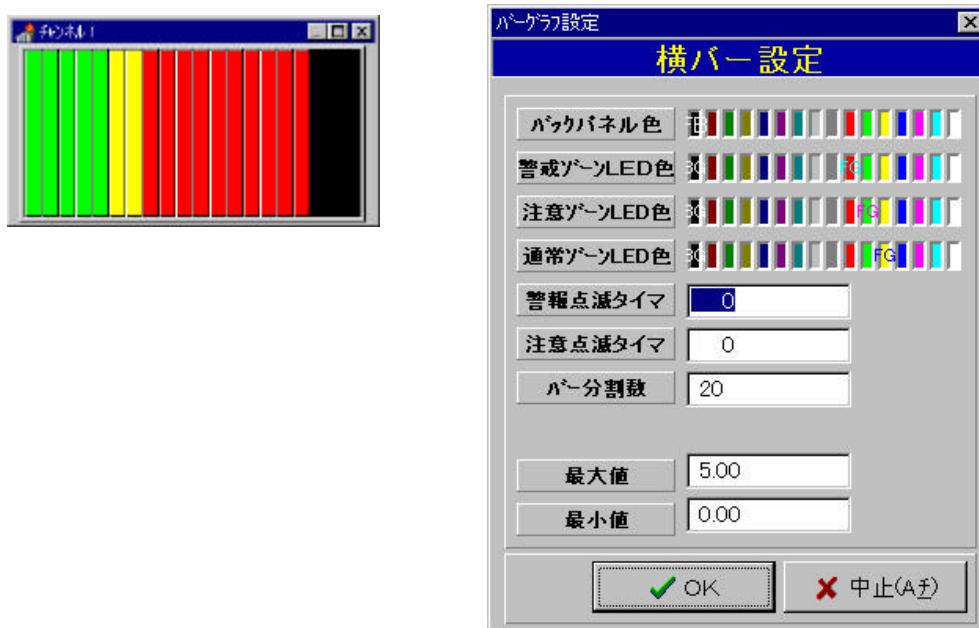


バックパネル、警戒ゾーン、注意ゾーン、通常ゾーンの各色を設定します。バー分割数は縦全体の分割数を設定します。多くすれば分解能は上がりますが、表示に時間がかかります。最小値はバーグラフの下の原点値で、最大値はバーグラフ上の上限値をあらわします。この3つの値は適切に設定して下さい。



## 横バーLED設定

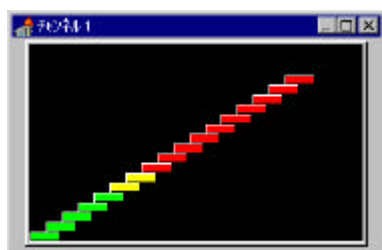
現在値を横バーで表示する計器です。



バックパネル、警戒ゾーン、注意ゾーン、通常ゾーンの各色を設定します。  
バー分割数は横全体の分割数を設定します。多くすれば分解能は上がりますが、表示に時間がかかります。最小値はバーグラフの左の原点値で、最大値はバーグラフ右の上限値をあらわします。この3つの値は適切に設定して下さい。

## 斜めバーLED設定

現在値を斜めバーで表示する計器です。



バーグラフ設定

### 斜めバー設定

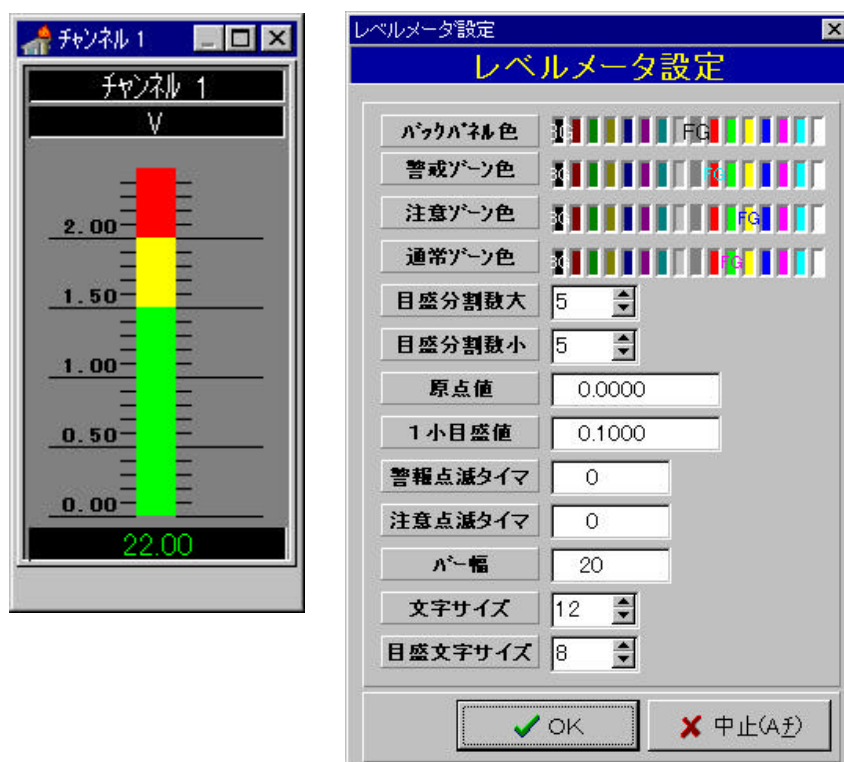
バックパネル色	
警戒ゾーンLED色	
注意ゾーンLED色	
通常ゾーンLED色	
警報点減タイマ	<input type="text" value="0"/>
注意点減タイマ	<input type="text" value="0"/>
バー分割数	<input type="text" value="20"/>
バー幅	<input type="text" value="25"/>
最大値	<input type="text" value="5.00"/>
最小値	<input type="text" value="0.00"/>

バックパネル、警戒ゾーン、注意ゾーン、通常ゾーンの各色を設定します。  
バー分割数は全体の分割数を設定します。多くすれば分解能は上がりますが、表示に時間がかかります。最小値はバーグラフの左の原点値で、最大値はバーグラフ右の上限値をあらわします。この3つの値は適切に設定して下さい。

この斜めバーには、上記バーに加えて、バーの幅が設定できます。

### レベルメータ設定

現在値をレベル値で表示する計器です。バー計器より、設定が複雑ですが詳細な表示ができます。



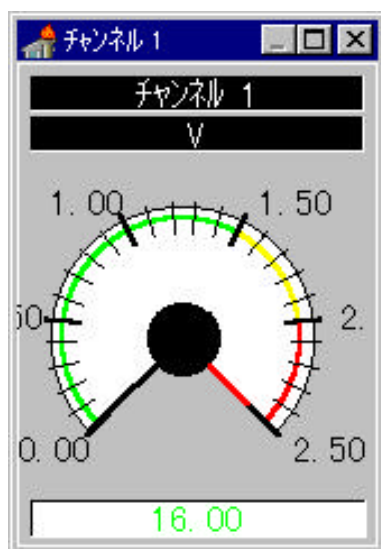
バックパネル、警戒ゾーン、注意ゾーン、通常ゾーンの各色を設定します。  
目盛り分割数を大分割、小分割に分けて設定します。各 5 にセットすると計分割数は  $5 \times 5$  の 25 となります。下の原点値、およびこの小分割の目盛り値を適切に設定します。  
警戒、  
、注意点滅タイマは他の計器と同様です。

上段にチャンネル名と、単位が表示され、下段に値が表示されますが、この文字の大きさを文字サイズで設定します。また目盛りの文字サイズは目盛り文字サイズで設定します。

またバーグラフの幅も希望値に変更できます。

### アナログメータ設定

現在値をアナログ表示する計器です。



他の計器と同様、警戒ゾーン、注意ゾーン、通常ゾーンの各色に加えて、円内部、円外部、

目盛り色を希望の色に設定します。

目盛り分割数を大分割、小分割に分けて設定します。各 5 にセットすると計分割数は  $5 \times 5$

の 25 となります。下の原点値、および小分割の目盛り値を適切に設定します。

警戒、注意

点滅タイムは他の計器と同様です。



上段にチャンネル名と、単位が表示され、下段に値が表示されますが、この文字の大きさ

を文字サイズで設定します。また目盛りの文字サイズは目盛り文字サイズで設定します。

## 警報の設定

### 警報ポート設定

起動画面上の < 警報ポート設定 > をクリックすると、警報名称、及び出力ポートの設定

画面となります。

警報名称ポート設定

### 警報名称、及び出力ポートの設定

出力ポート1

IOアドレス 0000

ビット	警報名称	接続
7	警報1-7	オン
6	警報1-6	オン
5	警報1-5	オン
4	警報1-4	オン
3	警報1-3	オフ
2	警報1-2	オフ
1	警報1-1	オフ
0	警報1-0	オフ

出力ポート2

IOアドレス 0000

ビット	警報名称	接続
7	警報2-7	オフ
6	警報2-6	オフ
5	警報2-5	オフ
4	警報2-4	オフ
3	警報2-3	オフ
2	警報2-2	オフ
1	警報2-1	オフ
0	警報2-0	オフ

OK 中止(A)

出力ポートは2バイト、16ビットまで設定できます。出力するIOアドレスを16進4桁で入力

します。ADボードによっては出力ビットをもっているものもあり、この場合は<計測ハード設

定>でADボードを切り換えた時、自動的にこの内部IOアドレスが設定されます。

各ビットに希望の警報名称を設定できます。 また個別に接続オンオフが設定できます。

接続オフと設定されたビットは警報がオンになっても出力されません。

## 警報条件設定

起動画面上の＜警報条件設定＞をクリックすると、各チャンネルが警戒ゾーンにはいった時のAND、ORの各種組み合わせで、＜警報ポート設定＞で設定したビットをオンできます。

チャンネル名称	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1 チャンネル 1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 チャンネル 2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 チャンネル 3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 チャンネル 4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 チャンネル 5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 チャンネル 6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 チャンネル 7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 チャンネル 8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

横方向はOR条件、縦方向はAND条件

OK 中止(AZ)

積和の論理の設定ができます。まず設定対象警報出力ビット一覧から、設定対象の警報ビ

ットを選択します。

縦にチャンネルがならび縦がANDで、横がORとなります。各希望の箇所にチェックマーク

をつけることで条件を設定します。

例1：チャンネル1と2と3が同時に警戒ゾーンにはいったか、またはチャンネル4が警戒ゾ

ンにはいったときビットをオンする。この設定は以下となります。

			1	2	3	4	5	6	7
8	9	0							
		1	チャンネル 1	x					
		2	チャンネル 2	x					
		3	チャンネル 3	x					
		4	チャンネル 4		x				

例1：チャンネル1または2または3がのいずれかが警戒ゾーンにはいったときビットをオン

する。この設定は以下となります。

				1	2	3	4	5	6	7
8	9	0								
		1	チャンネル1	x						
		2	チャンネル2		x					
		3	チャンネル3			x				
		4	チャンネル4							

この設定を各警報ビットに対して行います。

### **警報ランプ表示**

起動画面上の<警報ランプ表示>をクリックすると、現在の各警報ビットの状態モニタ画面が表示されます。

接続がオンされた警報ビットの現在の状態が表示されます。警報ランプ表示画面は希望の位置に希望の大きさで表示することができます。

画面下の<表示設定>部分をマウスでクリックすることで、表示状態ランプの色等を変更することができます。





縦横表示形式で、ランプの並びを縦配列とするか、横配列とするか選択します。

点滅タイマは警報がオンしたときの点滅タイマで、m s e c で設定、点滅なしとなります。

L E Dランプ色は、赤、黄、青、緑から選択できます。

## グラフ、テキスト印刷

### グラフ印刷

起動画面上の<グラフ印刷>をクリックすると、計測されたデータをチャートグラフ形式で印刷することができます。

<プリンター設定>で  
各種の印刷設定をしま  
す。

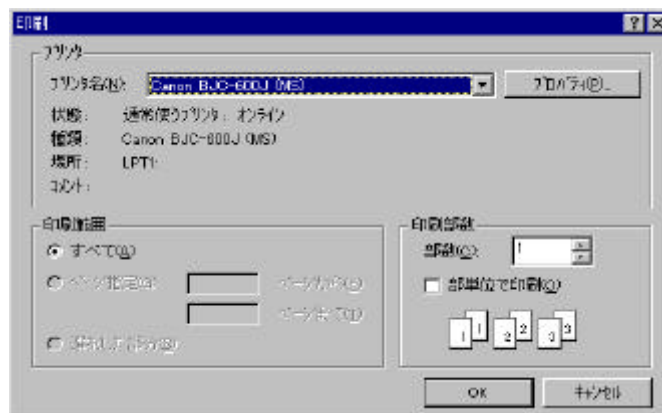
タイトル、コメントを  
入れ  
<印刷実行>を押しま  
す



## テキスト印刷

起動画面上の<リスト印刷>をクリックすると、テキスト表形式で印刷することが  
でき  
ます。

プリンターの設定を行  
い、  
<OK>を押します。



## テキストファイル保存、読込

起動画面上の＜テキスト保存＞＜テキスト読込＞で計測データをディスクに保存、または  
ディスクから読込ことができます。

ファイル名の拡張子は  
C S Vとします。

他の表計算ソフトとの  
やり  
とりができます。



## トラブル対応

---

一般的なトラブルの対応をまとめています。

- 1) 計測スタートをすると以下のメッセージがでる  
＜データロス発生、スピードを遅く＞  
サンプリングスピードが早く、処理が追従しない場合で、サンプリング速度  
を遅くします。その他、計測中に設定画面を表示したり、スクロール等他の  
処理を行うと、遅い場合でもこのエラーが発生します。速度が速いとき、計  
測中は他の処理を行わないようにして下さい。
- ＜A/Dボードが接続されていません＞  
A/Dボードをセットしているにもかかわらずこのメッセージがでる  
場合は  
＜計測ハード設定＞のI/Oアドレスがボード基板の設定と異なっている場合  
があります。電源をオフし、ボード上のI/Oアドレスを確認して下さい。
- 2) 取り込まれた電圧が実際と異なる。  
＜計測ハード設定＞で設定している入力電圧レンジが、A/Dボード上の設  
定と異なっている場合が考えられます。AD ボード取扱い説明書でレンジ  
設定を確認します。
- 3) 取込みデータ点数を変更するとエラーになる  
メインメモリ、またはディスク容量がたりません。データ点数を少なくして下  
さい。
- 4) プログラムが起動されたとき、エラーとなりまったく動作しない。  
起動時に環境ファイル＜LOGDAS.INI＞を読み込みますが、このファイル  
が破損している可能性があります。このファイルはないと自

動作成されます

ので、一度削除してみます。

---

L O G D A S - W I N

発行 株式会社 松山

アドバンス

活用ガイド

1997/12/1 初版発行

Copyright (株)松山アドバンス